

| No. | 実施大学 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位数 | 開講区分 | 曜日 | 予定回数 | 時間 | 実施場所 | 定員 |
|-----|--------|--------|-----------------------|-----|------|----|------|-------------|--------|----|
| 14 | 東京純心大学 | リトミックⅡ | 平島 美保 現代文化学部 非常勤講師 | 1 | 後期 | 木 | 15 | 14:40～16:10 | 東京純心大学 | 5 |

【到達目標】

- 1 音楽の諸要素を体得し、ピアノ演奏に応用できる。
- 2 自己表現ができる。
- 3 仲間とのコミュニケーションを取りながら、創作活動ができる。

【授業の概要】

リトミックⅠで体得したものを基に、リトミックⅡでは、無意識に行っている動きを意識化し、理論的に学んできた音楽の諸要素を身体活動でという体験を通して更に深め習得する。特に自分の身体の動きや空間の使い方は自分の動きに適しているかを意識しながら、音楽の要素である「休符と間(ま)の取り方」「聴覚を通じた体験による歌で行うカノン」「視覚を通じた体験による動きのカノン」を研究する。また、表現活動の一環として「リズムパターン・リズムフレーズ」を用いた打楽器による表現活動、「擬声語・擬態語」による言葉の持つニュアンスやリズムの身体表現、「音の響きを『絵』にした楽譜作成と演奏」により、表現力を高める。

【授業内容】

1. ・授業に臨む心構えと授業についてのガイダンス
・基本となる音符の復習と休符の活動 及びリズムパターン、リズムフレーズの活動
2. ・表現活動
「リズムパターン」「リズムフレーズ」を用いて表現する『ぞうくんのさんぼ(絵本)』の作品作成
(1)リズムパターン、リズムフレーズ作成
3. ・表現活動
「リズムパターン」「リズムフレーズ」を用いて表現する『ぞうくんのさんぼ(絵本)』の作品作成
(2)テーマとなる短いメロディを作成
4. ・表現活動
「リズムパターン」「リズムフレーズ」を用いて表現する『ぞうくんのさんぼ(絵本)』の作品作成
(3)作成したリズムパターンやリズムフレーズとテーマ、及びメロディを打楽器やメロディ楽器を用いて表現する練習
5. ・表現活動
「リズムパターン」「リズムフレーズ」を用いて表現する『ぞうくんのさんぼ(絵本)』の作品作成
(4)2～4回目に取り組んだ作品の仕上げと発表
6. ・音価を正確に保つ体験
音価の長い音符や休符における「間」や空間における「間」について
7. ・音価の長い音符や休符における「間」や空間における「間」を補足するためのリズム遊びと補足リズムを用いた動きの表現
8. ・「動き」「歌」「リズム」によるカノン(追いかけてっ)の体験
9. 「目で見えるカノン」の体験とグループによる「目で見えるカノン」の創作活動
10. ・グループによる「目で見えるカノン」の作品を仕上げ発表
11. ・オノマトペ
(1)擬声語・擬態語を用いたフレーズによる表現
12. ・オノマトペ
(2)いろいろな音色の打楽器の音の響きを声と動きで表現
13. ・オノマトペ
(3)いろいろな音色の打楽器の音の響きを図形化する
14. ・オノマトペ
(4) (3)で行ったことを「絵による楽譜」として作成し演奏する練習
15. ・オノマトペ
(5)14回目の授業で作成した「絵による楽譜」による演奏、発表

【成績評価方法】

グループで行う「動き、表現」の作品、提出物、グループ活動における参加度(平常点)で評価する。
動き、表現活動作品 80%、提出物 10%、平常点 10%

【教科書】

特になし。必要に応じて資料を配布する。

【参考書、教材等】

「音楽教育メソッドの比較」 R. エイブラムソン他 著 板野和彦 訳 全音楽譜出版社
「ダルクローズのリトミック」 E.バンドゥレスパー著 石丸由理 訳 ドレミ出版

※ この授業は、9/30(木)が初回です。